

## 平成28年6月定例会会議録（第3号）

平成28年6月16日 木曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

### 出席議員（15名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
9番	梅津 善之	議員	10番	赤間 泰広	議員
11番	小関 秀一	議員	12番	五十嵐 智洋	議員
13番	蒲生 光男	議員	14番	安部 隆	議員
16番	渋谷 佐輔	議員			

### 欠席議員（1名）

15番 町田 義昭 議員

### 説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
齋藤 環樹	総務 参事	泡渊 栄人	地方創生 参事
松木 幸嗣	厚生 参事	竹田 利弘	総合政策 課長
高石 潤一	総務 課長	渡邊 洋男	財政 課長
桐生 芳弘	公共施設整備 課長	松木 満	地域づくり推進 課長
佐野 安広	税務 課長	鈴木 広弥	市民 課長
伊藤 亮一	健康 課長	佐藤 隆	福祉あんしん 課長
金子 剛	子育て推進 課長	堀越 俊一郎	監査 委員
加藤 弘二	教育 委員 長	加藤 芳秀	教育 長
谷澤 秀一	産業 参事	青木 邦博	建設 参事
遠藤 敏広	農林 課長	手塚 慶一	商工観光 課長
横山 照康	産業活力推進 課長	多田 茂之	建設 課長
種村 正一	上下水道 課長	渋谷 憲治	会計管理者兼会計 課長
横山 賢一	教育 参事	鈴木 博郎	学校教育 課長

川 村 直 人	文化生涯学習課長	小 関 浩 幸	生涯スポーツ課長
鈴 木 良 弘	選挙管理委員会事務局長	高 橋 洋 一	監査委員事務局長
中 田 浩 之	農業委員会事務局長	渋 谷 正 通	消 防 主 幹

### 事務局職員出席者

飯 澤 常 雄	議会事務局長	小 林 克 人	補 佐
若 月 由 紀	議事調査主査	飯 澤 光 梨	主 任
安 達 洋 司	主任技士		

### 議事日程（第3号）

平成28年6月16日 木曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 5 番 平 進 介 議員
  - 3 番 金 子 豊 美 議員
  - 8 番 今 泉 春 江 議員
  - 10 番 赤 間 泰 広 議員
  - 9 番 梅 津 善 之 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

## 開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、15番、町田義昭議員の1名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、鈴木國男選挙管理委員会委員長並びに鈴木榮一農業委員会会長から本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問をきのうに引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

### 平 進介議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位6番、議席番号5番、平進介議員。

(5番平 進介議員登壇)

○**5番 平 進介議員** おはようございます。

昨年6月、初めてこの壇上に立たせていただき、一般質問をさせていただきました。あれからちょうど1年がたちます。今後も市民の皆様の福祉の向上に向け邁進してまいりますので、よろしく願いいたします。

さて、今定例会一般質問におきまして、市民の足となる市民バスと急速に伸びているふるさと応援寄附制度の2点について質問をいたします。

それでは、初めに1番目の市民の足となる予約型デマンド交通への移行について、順次お伺いいたします。

昨年9月に策定した長井市人口ビジョン及び長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略などを踏まえ、具体的な取り組みを示した長井市地域再生計画及び長井市中心市街地活性化計画が本年3月、総理大臣の認定を受けました。これにより、国の支援を受けながらそれぞれの計画を実行することができるということで、総合戦略の具現化に向けた取り組みに大いに期待をしたいと思います。

総合戦略は、平成27年度から平成31年度までの5年間で、昨年度は人口ビジョンや総合戦略の策定の年となりましたから、今年度が実質的なスタートの年となります。総合戦略の基本目標の一つに、時代に合った地域をつくり、安心な地域を守るとし、小さな拠点の形成として中央地区以外の5地区について小学校や児童センター、地区公民館を核とした拠点づくりを行い、中心市街地と周辺部を公共交通ネットワークで結ぶため、公共交通の利便性の向上を上げております。

この点につきましては、一昨年からはまった市内循環の市民バスの運行形態を見直し、昨年7月からより細やかに各地域を巡回していく手法を用いて運行してきております。そして、間もなく1年が過ぎようとしておりますが、利用者の利便性を高めた市営バスを運行しての成果と課題について、現時点でどのように捉えておられるのか、地域づくり推進課長にお聞きいたします。

私は、より市民の足となるための工夫を常に考える必要があると思います。現行の路線バス